

岡本 幹男 議員

防潮堤強化の取組に具体策を

問 袋井市南部地区安全確保のための緊急課題である防潮堤強化の具体化策は。

答 静岡県が示す津波アクションプログラムに対して要望するほか、遠州灘沿岸保全対策促進期成同盟会に加盟している関係市と連携して、防潮堤強化を強く要望していきたい。

津波一時避難施設の

早期整備を望む

問 地域住民の実態を踏まえた進捗状況は。

答 中新田命山は、平成25年度内に用地取得を完了し、測量・設計を実施のうえ、平成26年度中の完成を目指している。湊西命山についても、平成25年度内の用地取得と、平成26年度中の完成を目指している。



湊命山の整備工事

通学路の安全対策推進を

問 平成25年度の具体的取組は。

答 平成24年度に引き続き「通学路安全対策会議」を開催し、安全対策に取り組みでいきたい。中学校については、自転車通学が多いことに配慮し、交通安全指導を徹底させる。全体を通じ、地域と学校がより連携し、通学路の安全対策に取り組みでいきたい。

寺田 守 議員

入札に最低制限価格を

設けた意義は

問 市は建設工事の入札に最低制限価格制度を採用したが、この制度を広げていく考えはあるか。

答 この制度は著しい低価格受注による公正な取引秩序の阻害、下請け業者の保護、品質の確保、地域建設業の健全な発展を図るため導入した。設計や測量等への適用については、先ずは低入札価格調査制度の実施に向け研究していきたい。

問 入札方式に価格一辺倒でなく、品質や能力、地域貢献度を評価に加える総合評価方式を増やしていく考えはあるか。

答 平成19年度から建設工事の入札に総合評価落札制度を始め今年度は10件の採用を目標としている。今後、建設関連における設計や測量等への委託業務の入札について研究していきたい。

国際交流協会に

期待するものは

問 設立30年になる市国際交流協会も、時代と共にその役割も変化している。市が協会に期待するものは何か。

答 国際交流を進める上で、海外都市との交流、市民の国際化、多文化共生の3つの柱が重要と考える。



2月の国際交流フェスタ